

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿  
 武豊町議会議員 鳥居 美和  
**一般質問の通告について**  
 令和8年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 災害関連死を防ぐ取り組みについて</p>	<p><b>【趣旨説明】</b>                      昨年、2025年1月は阪神淡路大震災から30年、また今年の4月で熊本地震から10年を迎えました。被災者の方々、お亡くなりになった大勢の方々に思いをはせると同時に現在も大変辛い状況でみえる方々の復興を祈ります。                      今を生きる私たちは震災から多くの事を教訓として学びました。「災害は忘れたころにやって来る」から「忘れることなく」近年、全国各地で大規模災害が頻発しております。                      災害時においては、地震による津波や家屋・建造物の倒壊や風水害による直接的な死「直接死」だけではなく、避難生活の長期化や環境悪化、持病の悪化、精神的ストレスなどによって亡くなられる「災害関連死」が大きな課題となっています。阪神淡路大震災での災害関連死は約3,500人、東日本大震災では福島県の災害関連死は2,343人と直接死の約1.5倍。熊本地震での災害関連死は直接死の4倍超に及んでいます。2024年元旦に起きた能登半島地震では、多くの方が厳しい避難生活を余儀なくされ、高齢者を中心に健康状態の悪化が深刻な問題となり既に「直接死」より「災害関連死」の方が上回っています。                      災害から命を守るためには、発災直後の救助活動だけでなく、その後の避難生活をいかに支えるかが重要です。被災者が日常と一変した環境に身を置く心労は計り知れません。                      災害関連死は、防ぐことができる命であり、自治体の備えによって大きく減らすことができると考えます。                      そこで、本町の災害関連死防止への取り組みについて質問いたします。</p> <p><b>【質問事項】</b></p> <p>① 避難所生活における健康悪化防止の観点から、トイレ、食事、睡眠環境、感染症対策など、避難所環境整備への取り組みについて伺います。</p> <p>② 在宅避難者や車中避難者に対する支援体制について伺います。</p> <p>③ 高齢者、障がい者、妊産婦、医療的ケアが必要な方など、避難所に避難した後のケアの支援体制はどのようになっているのか伺います。</p> <p>④ 本町の地域防災計画において、災害関連死防止をどのように位置づけているのか伺います。</p>